

Autodesk®
Mudbox™

2012



Autodesk

インストールの概要および FAQ

Autodesk® Mudbox™ 2012

© 2011 Autodesk, Inc. All rights reserved. Except as otherwise permitted by Autodesk, Inc., this publication, or parts thereof, may not be reproduced in any form, by any method, for any purpose.

Certain materials included in this publication are reprinted with the permission of the copyright holder.

The following are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., and/or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and other countries: 3DEC (design/logo), 3December, 3December.com, 3ds Max, Algor, Alias, Alias (swirl design/logo), AliasStudio, AliasWavefront (design/logo), ATC, AUGI, AutoCAD, AutoCAD Learning Assistance, AutoCAD LT, AutoCAD Simulator, AutoCAD SQL Extension, AutoCAD SQL Interface, Autodesk, Autodesk Intent, Autodesk Inventor, Autodesk MapGuide, Autodesk Streamline, AutoLISP, AutoSnap, AutoSketch, AutoTrack, Backburner, Backdraft, Beast, Built with ObjectARX (logo), Burn, Buzzsaw, CaiCE, Civil 3D, Cleaner, Cleaner Central, ClearScale, Colour Warper, Combustion, Communication Specification, Constructware, Content Explorer, Dancing Baby (image), DesignCenter, Design Doctor, Designer's Toolkit, DesignKids, DesignProf, DesignServer, DesignStudio, Design Web Format, Discreet, DWF, DWG, DWG (logo), DWG Extreme, DWG TrueConvert, DWG TrueView, DXF, Ecotect, Exposure, Extending the Design Team, Face Robot, FBX, Fempro, Fire, Flame, Flare, Flint, FMDesktop, Freewheel, GDX Driver, Green Building Studio, Heads-up Design, Heidi, HumanIK, IDEA Server, i-drop, Illuminate Labs AB (design/logo), ImageModeler, iMOUT, Incinerator, Inferno, Inventor, Inventor LT, Kynapse, Kynogon, LandXplorer, LiquidLight, LiquidLight (design/logo), Lustre, MatchMover, Maya, Mechanical Desktop, Moldflow, Moldflow Plastics Advisers, MPI, Moldflow Plastics Insight, Moldflow Plastics Xpert, Moondust, MotionBuilder, Movimento, MPA, MPA (design/logo), MPX, MPX (design/logo), Mudbox, Multi-Master Editing, Navisworks, ObjectARX, ObjectDBX, Opticore, Pipeplus, PolarSnap, PortfolioWall, Powered with Autodesk Technology, Productstream, ProMaterials, RasterDWG, RealDWG, Real-time Roto, Recognize, Render Queue, Retimer, Reveal, Revit, RiverCAD, Robot, Showcase, Show Me, ShowMotion, SketchBook, Smoke, Softimage, SoftimageXSI (design/logo), Sparks, SteeringWheels, Stitcher, Stone, StormNET, StudioTools, ToolClip, Topobase, Toxik, TrustedDWG, U-Vis, ViewCube, Visual, Visual LISP, Volo, Vtour, WaterNetworks, Wire, Wiretap, WiretapCentral, XSI.

Adobe and Photoshop are either registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

Fmpeg is a trademark of Fabrice Bellard, originator of the Ffmpeg project.

Python is a registered trademark of Python Software Foundation.

ACE™, TAO™, CIAO™, and CoSMIC™ are copyrighted by Douglas C. Schmidt and his research group at Washington University, University of California, Irvine, and Vanderbilt University, Copyright (c) 1993-2009, all rights reserved.

All other brand names, product names or trademarks belong to their respective holders.

Disclaimer

THIS PUBLICATION AND THE INFORMATION CONTAINED HEREIN IS MADE AVAILABLE BY AUTODESK, INC. "AS IS." AUTODESK, INC. DISCLAIMS ALL WARRANTIES, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE REGARDING THESE MATERIALS.

目次

第 1 章	Autodesk Media & Entertainment 製品をインストールする . . .	
	1	
概要		1
インストールの準備		1
インストールの種類を選択する		2
ライセンスを指定する		3
環境設定とインストール		4
製品のアクティベーションを行う		5
配置を作成する		5
製品の言語を変更する		6
よくある質問と回答		7
シリアル番号やプロダクト キーを紛失するとどうなりますか?		7
なぜ、製品のインストール後にアクティベーションが必要なのですか?		7
試用ライセンスは、製品スイートまたはバンドルでどのように動作するのですか?		8
ライセンスをスタンドアロンからネットワークに、またはネットワークからスタンドアロンに切り替えるにはどうすればよろしいですか?		8

インストールのあと、製品のライセンス情報はどこで確認できますか?	8
インストールのあと、どうすれば製品の環境設定を変更したり、製品を修復またはアンインストールできますか?	9

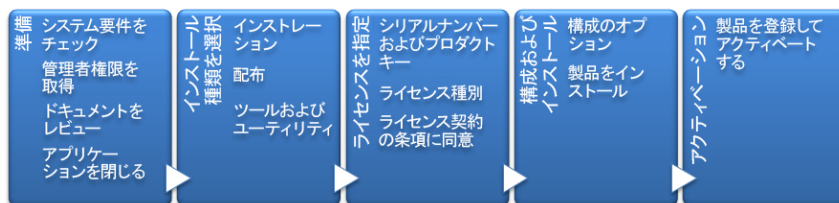
第 2 章	付録: Autodesk Mudbox をインストールする	11
	Autodesk Mudbox 2012 固有のインストール情報	11
	32 ビット版の製品を 64 ビット オペレーティング システムにインストールする	11
	Mac OS X に Mudbox をインストールする	12
	Linux に Mudbox をインストールする	15
	Mudbox ヘルプをローカルにインストールする	20
	Mac OS X または Linux の Mudbox をアンインストールする	24
	その他の Mudbox リソース	25
	索引	27

Autodesk Media & Entertainment 製品をインストールする

1

概要

次の図は、インストール処理の主要部分を示しています。



詳細は、以降のセクションに示します。

インストールの準備

インストールを開始する前に、次の事項を確認してください。

- ご使用のコンピュータが最低限の動作環境を満たしていることを確認してください。不安がある場合は、インストーラウィンドウの一番下に表示されている[動作環境]をクリックしてください。
- インストールの種類(スタンドアロンまたはネットワーク)やインストールする製品などの詳細を把握するには、製品のドキュメントを参照してください。ド

キュメントには、インストーラの左下コーナーのリンクからアクセスできます。

インストールのヘルプ | 動作環境 | Readme

- インストールするユーザのユーザ名が、アプリケーションをコンピュータまたはネットワークにインストールするために必要な管理者の権利を持っていることを確認してください。
- インストールするすべての製品のシリアル番号とプロダクトキーを入手します。これらは製品のパッケージに記載されているか、ソフトウェアをダウンロードしたときに提供されます。
- 実行しているすべてのアプリケーションを閉じます。

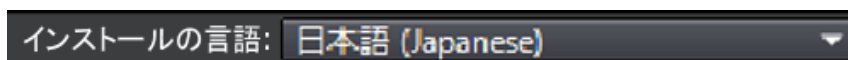
インストールの種類を選択する

ここには、正しい方針の選択に役立つ基本的な情報が記載されています。

- **インストール**は、個人ユーザまたは小規模なグループに適しています。重要な点は、それぞれのコンピュータに対して、インストール作業を繰り返すこととなる点です。これは、スタンドアロンライセンスにとっては唯一の有効なインストールの種類です。しかし、マルチシート スタンドアロンやネットワーク ライセンスで使用することもできます。
- **配置を作成**は、マルチシート スタンドアロンまたはネットワーク ライセンスを使用するネットワーク管理者に適しています。配置の作成処理では、インストールは1度だけ環境設定され、ネットワーク上に保存されます。その後、ユーザのコンピュータに効率的に配布されます。
配置の詳細は、「[配置を作成する](#)」(5 ページ)または『ネットワーク管理者用ガイド』を参照してください。
- **ツールとユーティリティ**は、スイートまたは製品に関連するツールやユーティリティをインストールするために使用します。オートデスク製品のネットワーク ライセンスを所有している場合、ユーザが製品を実行できるようにするには、このオプションを使用して Network License Manager をインストールする必要があります。使用できる有益なツールやユーティリティを見分けるには、ご使用のスイートまたは製品のドキュメントを参照してください。

インストーラの言語を選択する

インストーラの最初の画面で、右上のこのコントロールを使用して、インストーラの画面に表示される言語を選択することができます。



いくつかのオートデスク製品では、インストール作業の後半に、インストールする製品の言語を選択することができます。詳細は、「[製品の言語を変更する](#)」(6 ページ)を参照してください。

ライセンスを指定する

以下の説明は、一般的な概要です。詳細は、ご使用の製品の『[ライセンス ガイド](#)』を参照してください。

ライセンスの種類

ほとんどのオートデスク製品は、インストールして、製品を評価するために 30 日間試用することができます。ライセンスを購入すると、ライセンスはユーザ固有の番号を使用して、スタンドアロンまたはネットワークとして環境設定されます。これらのライセンスの種類を、以下に簡単に説明します。

- **スタンドアロンライセンス**は、1 人のユーザの使用を目的としています。ライセンスを受けた製品は、同時に実行しない限り、複数台のコンピュータにインストールすることができます。
- **マルチシート スタンドアロン ライセンス**は、決められた最大数のユーザをサポートすることを目的としていますが、容易にアクセスできるように、より多くのコンピュータにインストールすることができます。
- **ネットワークライセンス**は、ネットワークに接続されたユーザの決められた最大数をサポートします。ユーザへのライセンスの配布を管理するには、ネットワーク上の 1 台または複数台のサーバに Network License Manager をインストールします。

ネットワーク ライセンス サーバ モデル

ネットワーク ライセンスを使用している場合、ライセンスの購入時に指定した Network License Manager のサーバ環境設定を選択することができます。

- **シングルライセンス サーバ**

1 台のサーバがネットワーク上のすべてのライセンスを管理します。

■ 分散ライセンス サーバ

ライセンスは、ネットワーク内の複数台のサーバのプールに分散されます。プール内のそれぞれのサーバの名前を入力します。

■ 冗長ライセンス サーバ

3 台のサーバがそれぞれのライセンスを認証できます。3 台のサーバの名前を入力します。

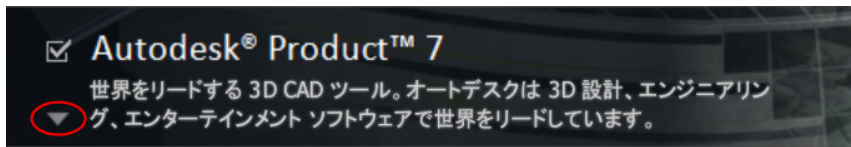
環境設定とインストール

インストールパス

このパスは、製品がインストールされる場所を示します。

環境設定

ほとんどの製品には、いくつかの環境設定があります。[インストール > インストールの環境設定] ページで、インストール対象として選択した製品に、環境設定パネルにアクセスするための三角形のコントロールが表示されます。



環境設定パネルを表示するには、製品ボックスの任意の場所をクリックします。多くの製品では、インストールの種類として、既定の環境設定を受け入れる **標準** と、設定を確認して修正するかどうかを決定できる **カスタム** のいずれかを選択できます。ご使用の製品の環境設定の詳細は、このガイドの付録に記載されている可能性があります。必要に応じて環境設定を行ったら、三角形をクリックして環境設定パネルを閉じます。

製品のアクティベーションを行う

オートデスク製品を最初に実行したとき、製品のアクティベーションを行うよう求められます。インターネットに接続されている場合、ご使用のコンピュータとオートデスクが直接通信を行い、アクティベーション処理が完了します。

ご使用のコンピュータがインターネットに接続されていない場合、後で接続したときにアクティベーションを行うことができます。いくつかの製品では、シリアル番号、リクエストコード、登録データを Web で送信するか、電子メールを使用してオフラインでアクティベーションを行うこともできます。アクティベーションの詳細は、[Autodesk Licensing](#)にアクセスし、FAQ リンクをクリックしてください。

配置を作成する

管理イメージ

管理イメージは、配置の作成処理で作成されるカスタマイズされたインストールファイルのセットです。それぞれのコンピュータに、プログラムの一貫した環境設定をインストールするために使用されます。その他の設定:

- **管理イメージのパス:** ネットワーク上の共有の場所で、フル コントロールの権利がある場所を指定します。プログラムをインストールするために、ユーザはこの場所にアクセスします。
- **プラットフォームの種類:** 配置を使用するコンピュータのオペレーティングシステムに応じて、32 ビットまたは 64 ビットのいずれかを選択します。
- **この配置環境設定に必要な製品のみを含める:** オンにすると、将来、追加の製品を含めるために配置を修正することができなくなります。オフにすると、管理イメージには可能なすべての製品が含まれ、将来、任意の方法で管理イメージを修正することができます。

インストール設定

- **サイレント モード** は、ユーザ入力なしに、インストールがバックグラウンドで実行されます。

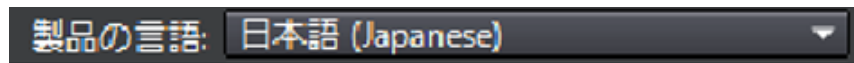
重要: サイレント モードでは、インストール完了時に警告は表示されず、ユーザのコンピュータは自動的に再起動されます。

- **ログ ファイル** には、それぞれのコンピュータのインストール データが記録されます。
- **ネットワーク ログ ファイル**は、配置を実行したすべてのコンピュータのインストールデータの主要な記録を保持します。これは、作成する配置と同じ名前で、ユーザが変更の権利を持っている共有フォルダに置く必要があります。これにより、ユーザのコンピュータはログファイルに書き込めるようになります。

製品の言語を変更する

以下の記述は、個別のメディアで提供されるそれぞれの言語バージョンのオートデスク製品には適用されません。これらの製品では、言語を変更することはできず、購入時に製品の言語を指定する必要があります。

いくつかのオートデスク製品では、インストーラのドロップダウン メニューを使用して、インストール時に製品の言語を選択することができます。



希望の言語がメニューに存在せず、メニューに[言語を追加]オプションがある場合は、言語パックを追加することができます。

注: [言語パックを追加]オプションは、サブスクリプション契約をしているユーザのみが使用できます。

配置の場合、最初に配置を作成するとき、または新しい配置環境設定を作成するときに、管理イメージに言語パックを含めることができますが、配置の修正時に含めることはできません。

言語パックをダウンロードするには

[サブスクリプションセンター](#)の Web サイトで、次のように言語パックを入手することができます。

- 1 [インストールする製品を選択]ページで、言語ドロップダウンの矢印をクリックし、[言語パックを追加]を選択します。
- 2 [言語パック]ダイアログ ボックスで、[参照]ボタンをクリックし、サブスクリプションセンターからダウンロードされた言語パックを選択します。

言語の選択には次の規則が適用されます。

- 1回のインストールで選択できるのは、1つの言語のみです。たとえば、同じインストールで、1つの製品に英語を選択し、他の製品に日本語を選択することはできません。
- 配置は、1言語でなければなりません。1つの管理イメージが異なる言語の配置に対応することはできませんが、それぞれの配置は1つの言語のみに対応します。
- 配置を修正するとき、または既存の配置をテンプレートとして新しい配置を作成するときに配置の言語を変更することはできません。
- いくつかの製品がサポートしていない言語を選択した場合、既定の言語が選択されます。

よくある質問と回答

ここで扱われていない事項についてアドバイスや支援が必要な場合は、[Autodesk Support](#) にアクセスし、ご使用の製品名をクリックして、ご使用の製品のナレッジベースで検索してください。

シリアル番号やプロダクトキーを紛失するとどうなりますか？

可能な場合は、製品のパッケージまたは購入記録を調べてください。または、[オートデスク カスタマー サービス](#) に連絡してください。

なぜ、製品のインストール後にアクティベーションが必要なのですか？

アクティベーションは、オートデスクのため、およびライセンス所有者であるユーザのために、オートデスク製品が有資格のコンピュータにインストールされたことを確認します。アクティベーション処理は、ライセンスの安全確保と管理を改善します。たとえば、マルチシートライセンスが許可されたユーザ数を超えて使用されることを確実に防止します。

試用ライセンスは、製品スイートまたはバンドルでどのように動作するのですか？

1つの試用期間、通常は30日、がスイートまたはバンドルに含まれるすべてのオートデスク製品に適用されます。最初の製品を開始したとき、すべての製品の試用期間のカウントダウンが開始されます。試用期間が終了する前に製品の1つでもアクティベーションしなかった場合、どの製品にもアクセスできなくなります。試用期間の終了後にアクティベーションコードを入力すると、再び製品にアクセスできるようになります。

ライセンスをスタンドアロンからネットワークに、またはネットワークからスタンドアロンに切り替えるにはどうすればよろしいですか？

単に間違っただけで正しくないライセンスの種類を選択し、まだインストーラを実行している場合は、[戻る]ボタンを使用して[製品情報]ダイアログボックスに戻り、ライセンスの種類を変更します。

インストールした製品のライセンスの種類を変更したい場合は、オートデスク販売パートナーまたはライセンス サプライヤーに問い合わせる新しいライセンスと新しいシリアル番号を入手します。次に、製品をアンインストールして新しくインストールを実行し、ライセンスの種類を変更して新しいシリアル番号を入力します。

インストールのあと、製品のライセンス情報はどこで確認できますか？

[ヘルプ]メニュー ▶ [バージョン情報]または[<製品名>バージョン情報]を選択します。ご使用の製品が[情報センター]を使用している場合は、[ヘルプ]メニューと同じ場所にあります。

インストールのあと、どうすれば製品の環境設定を変更したり、製品を修復またはアンインストールできますか？

- 1 Windows の[コントロール パネル]に進みます。
 - Windows XP: [スタート]メニューから、[設定] ▶ [コントロール パネル] ▶ [プログラムの追加と削除]を選択します。
 - Windows Vista または 7: [スタート]メニューから、[設定] ▶ [コントロール パネル] ▶ [プログラム]/[プログラムのアンインストール]を選択します。
- 2 Windows の[コントロール パネル]で、製品名をクリックし、次に[変更と削除] (Windows XP)または[アンインストールと変更] (Windows Vista and 7)をクリックします。

インストーラがメンテナンスモードで開かれ、処理の過程で操作方法が示されます。

付録: Autodesk Mudbox をインストール する

2

Autodesk Mudbox 2012 固有のインストール情報

Autodesk® Mudbox® のインストール プロセスには、他のオートデスク製品とは異なる固有の項目があります。この章では、Mudbox ヘルプのコピーをダウンロードするプロセスと、32 ビット版の Mudbox を 64 ビット マシンにインストールする方法について説明します。

また、Mac OS X および Linux 用の Autodesk Mudbox のインストールについても説明します。

32 ビット版の製品を 64 ビット オペレーティングシステムにインストールする

64 ビット マシンには 64 ビット版の製品がインストーラによって自動的にインストールされますが、このデフォルトの動作を手動で上書きすることができます。スタンドアロンインストールの場合は、インストールメディアのルートフォルダに移動し、32 ビット版のインストーラを起動します。このインストーラのファイル名は、Setup_32.exe またはこれに類似した名前になります。配置の場合は、64 ビットのターゲットプラットフォームを選択し、32 ビット版の製品を指定することができます。

Mac OS X に Mudbox をインストールする

Mac OS X に Mudbox をインストールするには

- 1 次のいずれかの操作を行って、インストーラを起動します。
 - DVD からインストールする場合は、ご使用のドライブに DVD を挿入し、デスクトップに表示される Mudbox DVD アイコンをダブルクリックします。
DVD ドライブの Mudbox/MacOSX フォルダに移動します。
 - ダウンロード パッケージからインストールする場合は、Mudbox .dmg をダブルクリックします。
- 2 Finder ウィンドウで、Install Mudbox 2012 プログラムをダブルクリックします。

Mudbox のインストーラが開始されます。



- 3 Mudbox のインストーラの指示に従って、製品をインストールします。
たとえば、[ライセンス コンフィギュレーション]ウィンドウで、次の操作を行います。
 - 11 桁のシリアル番号を入力します。

- プロダクト キーを入力します。
- ライセンスの種類として、[スタンドアロン]または[ネットワーク]を選択します。

ライセンスの種類としてネットワークを選択する場合は、表示される[サーバ名]フィールドにライセンスサーバ名を入力します。ライセンスサーバ名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。ライセンスサーバの設定の詳細については、www.autodesk.com/me-nag-2012-jpnにある『Autodesk ネットワーク管理者用ガイド』を参照してください。

- [続行]をクリックします。



- 4 インストールの成功を示す最後のウィンドウで、[完了]をクリックします。



注: インストーラの最後の画面に示されるように、Mudbox ヘルプはインターネット ベースのものです。[F1] または[F1]+[Fn]を押すか、[ヘルプ]>[Mudbox ヘルプ]を選択すると、ヘルプがオードデスク Web サーバから起動されます。信頼できるインターネット アクセスがない場合は、www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn からヘルプのローカルコピーをダウンロードできます。

デフォルトでは、Mudbox は /Applications/Autodesk/Mudbox2012/ フォルダにインストールされます。

Linux に Mudbox をインストールする

インストール ウィザードを使用して Linux に Mudbox をインストールする

Linux に Mudbox をインストールするには

- 1 次のいずれかの操作を行って、Mudbox のインストールを開始します。
 - DVD からインストールする場合は、ご使用のドライブに DVD を挿入します。
 - ダウンロード パッケージからインストールする場合は、圧縮ファイルから Mudbox パッケージを解凍します。
- 2 スーパー ユーザとしてシェルを開き(su -を使用します)、パッケージを解凍したフォルダに移動します。

注: 最近の Linux ディストリビューションでは、ルートとしてインストーラを実行するために、完全なスーパー ユーザ環境を必要とする場合があります。適切なレベルを取得するには、su -を使用します(最後にダッシュがあることに注意してください)。

- 3 ./setup と入力し、[Enter]を押します。
これにより、Mudbox のインストーラが開始されます。



- 4 Mudbox のインストーラの指示に従って、製品をインストールします。
たとえば、[ライセンス情報]ウィンドウで、次の操作を行います。
- 11桁のシリアル番号を入力します。
 - プロダクト キーを入力します。
 - ライセンスの種類として、[スタンドアロン]または[ネットワーク]を選択します。
ライセンスの種類としてネットワークを選択する場合は、表示される[サーバ名]フィールドにライセンスサーバ名を入力します。ライセンスサーバ名については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - [続行]をクリックします。



- 5 インストールの成功を示す最後のウィンドウで、[完了]をクリックします。デフォルトでは、Mudbox は /usr/autodesk/mudbox2012 フォルダにインストールされます。

注: インストーラの最後の画面に示されるように、Mudbox ヘルプはインターネット ベースのもので、[F1] または [F1]+[Fn] を押すか、[ヘルプ]>[Mudbox ヘルプ] を選択すると、ヘルプがオードデスク Web サーバから起動されます。信頼できるインターネット アクセスがない場合は、www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn からヘルプのローカルコピーをダウンロードできます。

rpm ユーティリティを使用して Linux に Mudbox をインストールする

rpm コマンドライン ユーティリティを使用すると、-i フラグまたは -ivh フラグを使用してプログラムをインストールできます。-ivh フラグを使用すると、インストール中に詳細な情報が提供されます。

rpm ユーティリティを使用して Linux に Mudbox をインストールするには

- 1 スーパー ユーザとしてシェルを開きます。

2 圧縮ファイルから Mudbox パッケージを解凍し、Mudbox パッケージを解凍したフォルダに移動します。

3 `ls` コマンドを使用してパッケージを一覧表示します。

表示されるパッケージは次のようになります。# は特定のパッケージ番号を示しています。

4 必要なソフトウェアをインストールするには、Maya が既にインストールされているコンピュータに Mudbox をインストールするかどうかに応じて、次のいずれかのコマンドを入力します。

■ Mudbox のみをインストールする場合は、次のコマンドを入力します。

```
rpm -ivh Mudbox2012_64-2012-#.x86_64.rpm
adlmapps4-4.0.35-0.x86_64.rpm
adlmflexnetclient-4.0.35-0.x86_64.rpm
```

■ Maya とともに Mudbox をインストールする場合は、次のコマンドを入力します。

```
rpm -ivh --force Mudbox2012_64-2012-#.x86_64.rpm
adlmapps4-4.0.35-0.x86_64.rpm
adlmflexnetclient-4.0.35-0.x86_64.rpm
```

5 OpenGL がインストールされていることを確認するために、`libGL.so` という名前のファイルを `/usr/lib/` または `/usr/X11R6/lib` フォルダで探します。

6 次のコマンドを入力して、ネットワークライセンスまたはスタンドアロンライセンスのどちらを使用するかを設定します。

```
/usr/autodesk/Mudbox2012/bin/licensechooser
```

```
/usr/autodesk/Mudbox2012/ <licensetype>
```

<licensetype> には、`standalone` または `network` を指定します。

これにより、(オートデスク ライセンス ソフトウェアが参照する)license.env ファイル内の情報がご購入のライセンス タイプに書き換えられます。

7 このセッションの共有ライブラリを設定するため

に、`/opt/Autodesk/Adlm/R4/lib64/` を `LD_LIBRARY_PATH` に追加します。

たとえば、BASH シェルで次のコマンドを実行します。

```
export LD_LIBRARY_PATH=/opt/Autodesk/Adlm/R4/lib64/
```

- 8 次のコマンドを実行し、オートデスク ライセンス ソフトウェアを使用して Mudbox を登録します。 <productKey1> および <productKey2> はプロダクト キー、 <serialNum> はシリアル番号です。

■ スタンドアロン ライセンス

```
/usr/autodesk/Mudbox2012/bin/adlmreg -i S  
<productKey1> <productKey2> 2012.0.0.F <serialNum>  
/var/opt/Autodesk/Adlm/Mudbox2012/MudboxConfig.pit
```

■ ネットワーク ライセンス

```
/usr/autodesk/Mudbox2012/bin/adlmreg -i N  
<productKey1> <productKey2> 2012.0.0.F <serialNum>  
/var/opt/Autodesk/Adlm/Mudbox2012/MudboxConfig.pit
```

注:

Mudbox のみを購入し、受け取ったプロダクト キーが1つだけの場合は、 <productKey1> と <productKey2> に同じプロダクト キーを入力します。

例:

```
/usr/autodesk/Mudbox2012/bin/adlmreg -i S 498D1 498D1  
2012.0.0.F 000-00000000  
/var/opt/Autodesk/Adlm/Mudbox2012/MudboxConfig.pit
```

この手順により、製品情報が記述された .pit ファイルが更新されます。このファイルは、Mudbox のインスタンスを多数インストールする場合は、同じ構成になっている別のマシンにコピーすることができます。

これらのコマンドは、登録が成功したことを示すメッセージを返します。その後、スタンドアロンライセンスまたはネットワーク ライセンスを使用して Mudbox を実行できるようになります。

Linux に関するその他の注意

このセクションでは、Linux で実行する Mudbox の設定に関する情報、Linux 用の Mudbox とその他のバージョンの Mudbox との違い、Linux オペレーティング システムでの Mudbox の使用において固有なその他の情報について説明します。

QT を設定する

SDK を使用してプラグインを作成する場合は、QT 4.7.1 をマシンにインストールします。さらに、必要に応じて `.bashrc/.cshrc/.tschrc` ファイルに `QTDIR` を定義する必要があります。QTDIR は、QT が格納されているマシンのフォルダに設定する必要があります。QT を「スタンドアロン」の場所にインストールした場合、そのフォルダは `QTDIR=/usr/local/Trolltech/Qt-4.7.1/include` となります。

プラグインを作成する

Mudbox 2012 SDK を使用して作成したプラグインには、GCC 4.1.2 コンパイラが必要です。

ラーニング ムービー

Linux プラットフォームの Mudbox ウェルカム画面にある 1 分間のラーニングムービーを再生するには、これらのムービー ファイルを認識するメディア プレイヤーが必要です。

動作の違い

Linux システムにインストールされた Mudbox は、Windows にインストールされた Mudbox とほとんど同じように動作します。オペレーティング システムの違いによって、表示されるユーザ インタフェースがわずかに異なっている場合があります。たとえば、ファイル ブラウザはそれぞれのオペレーティング システムに固有のものとなります。

Mudbox ヘルプをローカルにインストールする

デフォルトでは、Mudbox はオートデスクの Web サーバを呼び出して Mudbox ヘルプを表示します。ヘルプを表示するには、インターネットにアクセスできる必要があります。これにより最新バージョンのヘルプが得られ、オートデスクがソフトウェア リリースの間にヘルプの更新を行えるようになります。

信頼できるインターネットアクセスがない場合は、オートデスクの Web サイトから Mudbox ヘルプをダウンロードして、次のようにローカルにインストールします。

Mudbox ヘルプをインストールする準備を行う

Mudbox ヘルプをインストールする前に、必ず次の操作を行ってください。

- Mudbox をインストールします。
- ご使用のプラットフォームに対応する Autodesk Mudbox 2012 Japanese Documentation 実行可能ファイルを、
www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn からダウンロードします。このファイルにより、32 ビット システム用および 64 ビット システム用の Mudbox ヘルプがインストールされます。

Mudbox ヘルプをインストールする

(Windows)

- 1 www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn からヘルプ インストーラをダウンロードして実行し、インストーラの指示に従います。
デフォルトでは、Mudbox ヘルプは **Program Files\Autodesk\Help\mudbox2012** フォルダにインストールされます。
- 2 Mudbox を起動します。
- 3 [ウィンドウ]>[基本設定]を選択して、[基本設定]ウィンドウを開きます。
- 4 [ヘルプ]セクションを展開して、[ヘルプの場所]を[インストールされているローカル ヘルプ]に設定します。
- 5 [OK]をクリックして[基本設定]ウィンドウを終了します。
ローカルの Mudbox 2012 ヘルプは、インストール後に[ヘルプ]>[Mudbox ヘルプ]を選択するか、[F1]を押すか、またはさまざまな Mudbox ウィンドウで[ヘルプ]ボタンをクリックして利用できます。

(Mac OS X)

- 1 www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn からダウンロードした Autodesk Mudbox 2012 Japanese Documentation 実行可能ファイルをダブルクリックします。
Mudbox ヘルプのパッケージが Finder ウィンドウに表示されます。
- 2 パッケージ(.pkg)ファイルをダブルクリックします。
- 3 表示されるヘルプ インストーラの指示に従います。

デフォルトでは、Mudbox ヘルプは
/Applications/Autodesk/Mudbox2012/docs/mudbox2012/ja_JP フォルダにインストールされます。

- 4 Mudbox を起動します。
- 5 [Mudbox]>[環境設定]を選択して、[Preferences]ウィンドウを開きます。
- 6 [ヘルプ]セクションを展開して、[ヘルプの場所]を[インストールされているローカル ヘルプ]に設定します。
- 7 [OK]をクリックして[Preferences]ウィンドウを終了します。

ローカルの Mudbox 2012 ヘルプは、インストール後に[ヘルプ]>[Mudbox ヘルプ]を選択するか、[F1]を押すか、またはさまざまな Mudbox ウィンドウで[ヘルプ]ボタンをクリックして利用できます。

(Linux)

- 1 www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn からダウンロードした圧縮ファイルから Mudbox ヘルプのパッケージを解凍します。
- 2 スーパー ユーザとしてシェルを開き(su -を使用します)、パッケージを解凍したフォルダに移動します。
- 3 ./setup と入力し、[Enter]を押します。
- 4 表示されるヘルプ インストーラの指示に従います。
デフォルトでは、Mudbox ヘルプは
/usr/Autodesk/Mudbox2012-x64/docs/mudbox2012/ja_JP フォルダにインストールされます。
- 5 Mudbox を起動します。
- 6 [ウィンドウ]>[基本設定]を選択して、[基本設定]ウィンドウを開きます。
- 7 [ヘルプ]セクションを展開して、[ヘルプの場所]を[インストールされているローカル ヘルプ]に設定します。
- 8 [OK]をクリックして[基本設定]ウィンドウを終了します。

ローカルの Mudbox 2012 ヘルプは、インストール後に[ヘルプ]>[Mudbox ヘルプ]を選択するか、[F1]を押すか、またはさまざまな Mudbox ウィンドウで[ヘルプ]ボタンをクリックして利用できます。

注: Mudbox ヘルプ ファイルを手動でコンピュータにコピーした場合、または自身のマシン以外の場所からヘルプにアクセスしたい場合(たとえば、ネットワーク上の共通の場所を指定したい場合など)は、[ヘルプの場所]基本設定を[カスタム]に設定することもできます。「Mudbox ヘルプを共有の場所にインストールする」の手順を参照してください。

Mudbox ヘルプを共有の場所にインストールする

Mudbox ヘルプは、複数のユーザがアクセスできるようにするために、内部ネットワークや Web サーバなどの共有の場所にインストールできます。その後、個々のシステムの[Mudbox ヘルプ]基本設定を、共有の場所からアクセスするよう設定できます。

Mudbox ヘルプの共有の場所のフォルダパスを指定する際には、以下の点に注意してください。

- パスがヘルプの場所を直接指すようにする。たとえば、
¥¥CompanySever¥SharedLocation¥MudboxHelp¥docs¥Mudbox2012¥ja_JP
にします。
エイリアスパスは使用しないでください。
- パスが、index.html ファイルを含むフォルダを指すようにする。たとえば、日本語版の Mudbox ヘルプを指すパスの最後は ¥ja_JP フォルダになります。
- Web サーバの場所に http または https プロトコルを使用する。

Mudbox ヘルプを共有の場所にインストールするには

- 1 www.autodesk.com/mudbox-helpdownload-jpn からヘルプ インストーラをダウンロードして実行し、インストーラの指示に従います。
- 2 Mudbox ヘルプ ファイルのインストール先をたずねられたら、[変更] (Windows)または[参照] (Linux)をクリックし、ヘルプの共有の場所を指定します。

注:

Mac OS X では、ヘルプはデフォルトの場所にしかインストールできません。Mudbox ヘルプを共有の場所にインストールするには、最初にデフォルトの場所
(**/Applications/Autodesk/Mudbox2012/docs/mudbox2012/ja_JP**)にインストールしてから、docs フォルダを手動で目的の場所にコピーする必要があります。

その後、各ユーザは、共有の場所から Mudbox ヘルプにアクセスするよう [ヘルプ]基本設定を設定できます。

共有の場所から Mudbox ヘルプにアクセスするには

- 1 Mudbox を起動します。
- 2 (Windows および Linux) [ウィンドウ]>[基本設定]を選択して、[基本設定]ウィンドウを開きます。
(Mac OS X) [Mudbox]>[環境設定]を選択して、[Preferences]ウィンドウを開きます。
- 3 [ヘルプ]セクションを展開し、[ヘルプの場所]を[カスタム]に設定します。次に、Mudbox ヘルプの共有の場所を[ヘルプパス]フィールドに入力します。
- 4 [OK]をクリックして[基本設定]ウィンドウを終了します。
これで、Mudbox ヘルプが共有の場所からアクセスできるようになります。

Mac OS X または Linux の Mudbox をアンインストールする

Mac OS X の Mudbox をアンインストールするには

- 1 Mudbox フォルダ(デフォルトは、 /Applications/Autodesk/Mudbox2012/)に移動します。
- 2 Mudbox2012 アプリケーションをゴミ箱にドラッグにします。
- 3 ターミナルウィンドウを開き、次のコマンドを入力します。 <productKey> はプロダクト キーです。

```
adlmreg -u S <productKey> 2012.0.0.F  
adlmreg -u N <productKey> 2012.0.0.F
```

これにより、製品情報が ProductInformation.pit ファイルから適切に削除されます。

Linux の Mudbox をアンインストールするには

Linux の Mudbox をアンインストールするには、rpm ユーティリティを使用します。

- 1 スーパー ユーザとしてシェルを開きます。
- 2 このセッションの共有ライブラリを設定するために、`/opt/Autodesk/Adlm/R4/lib64/` を `LD_LIBRARY_PATH` に追加します。たとえば、`export LD_LIBRARY_PATH=/opt/Autodesk/Adlm/R4/lib64/` コマンドを実行してこの操作を行います。
- 3 以下の 2 つのコマンドを実行します。<productKey> はプロダクト キーです。

```
/usr/autodesk/Mudbox2012-x64/bin/adlmreg -u S  
<productKey> 2012.0.0.F
```

```
/usr/autodesk/Mudbox2012-x64/bin/adlmreg -u N  
<productKey> 2012.0.0.F
```

- 4 次のコマンドを入力して、インストールされているパッケージの名前を一覧表示します。

```
rpm -qa |egrep 'adlm|Mudbox'
```

- 5 アンインストールするパッケージ名をすべて特定します。たとえば、`Mudbox-2012-#` パッケージなどです(# はパッケージ番号です)。
- 6 次のコマンドを使用して、パッケージをアンインストールします。

```
rpm -e PackageName
```

その他の Mudbox リソース

以下に示したその他の Mudbox リソースをオンラインで入手できます。

- Autodesk Mudbox 2012 のドキュメント
(www.autodesk.com/mudbox-help-2012-jpn)
- 最新の認定ハードウェアおよびオペレーティング システムのリスト
(www.autodesk.com/mudbox-systemreq-2012-jpn)
- Mudbox ライセンス情報(www.autodesk.com/me-licensing-2012-jpn)

索引

L

Linux 25

M

Mac OS X 24

Mac OS X, Linux 11

Mudbox ヘルプ

ローカル インストール 20

Mudbox をアンインストールする 24, 25

あ

アクティベーション 5, 7, 8

アンインストール, 製品を 9

い

インストール ログ 6

インストール処理の図 1

お

オペレーティング システムの選択 5

か

カスタム設定 4

環境設定 4

管理イメージ 5

け

言語 3, 6

さ

サイレント モード 5

し

修復, 製品を 9

冗長ライセンス サーバ 4

情報センター 8

シリアル番号 1, 7

シングル ライセンス サーバ 4

す

スイート 8

スタンドアロン ライセンス 2

せ

製品の設定 4

つ

ツールとユーティリティ 2

と

動作環境 1

ドキュメントへのリンク 1

な

ナレッジベース 7

ね

ネットワーク ライセンス 2

ひ

標準設定 4

ふ

分散ライセンス サーバ 4

へ

変更
ライセンスの種類 8

ほ

法務からのお知らせ ii

ら

ライセンス サーバ モデル 3

ライセンスの種類 3

変更 8

ろ

ログ ファイル 6